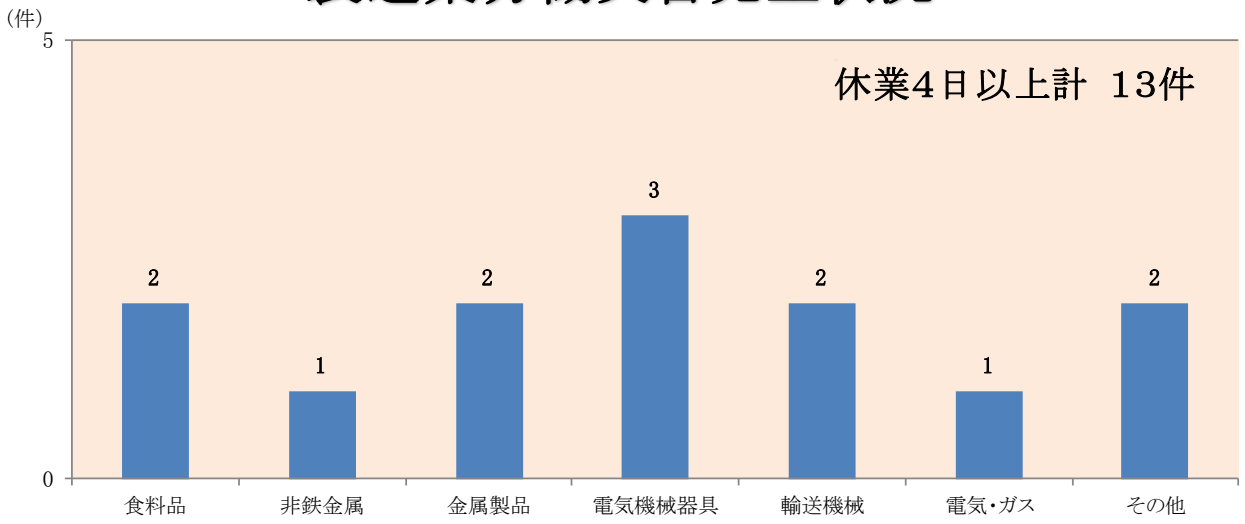
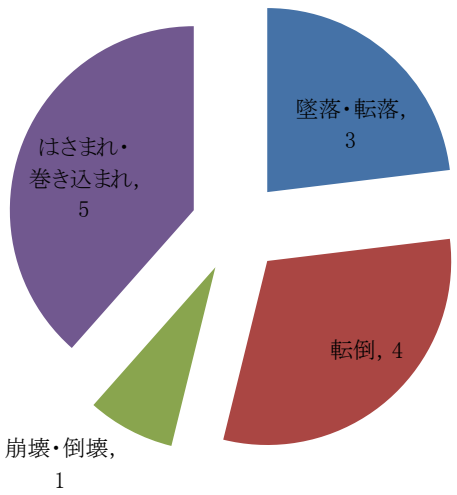
製造業労働災害発生状況



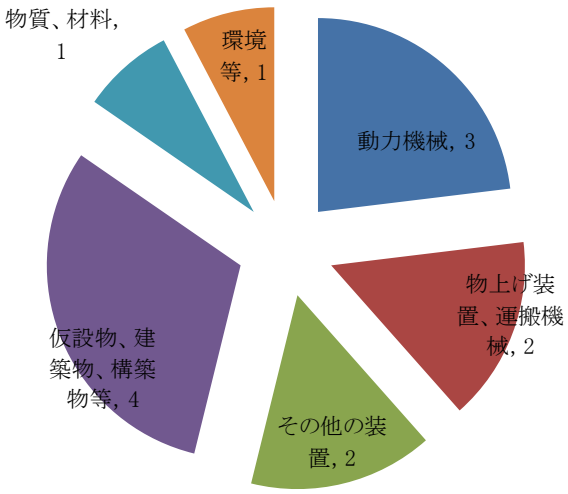
事故の型別

(件)

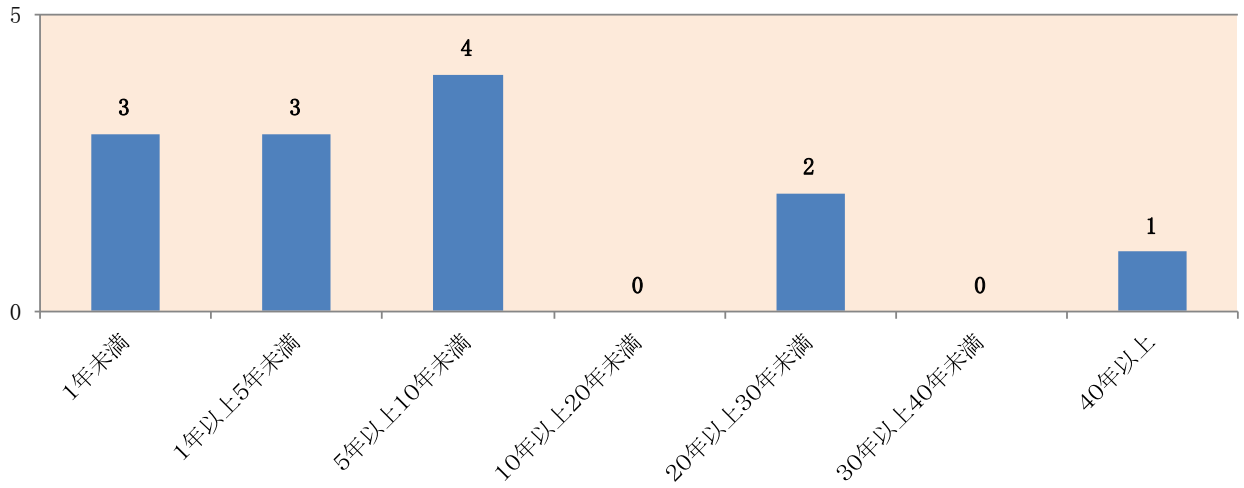


起因物別

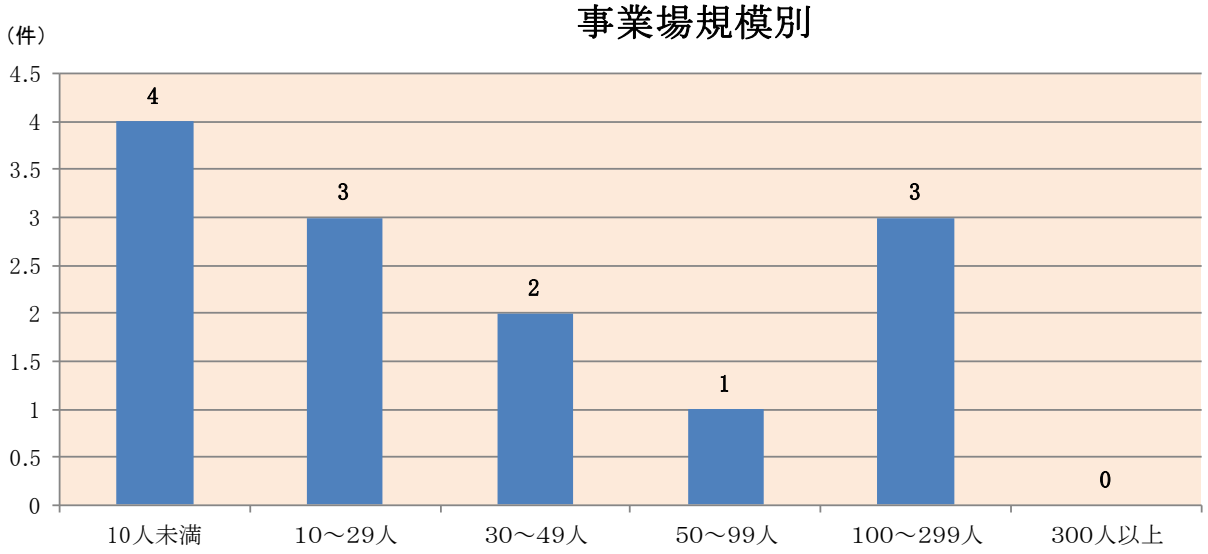
(件)



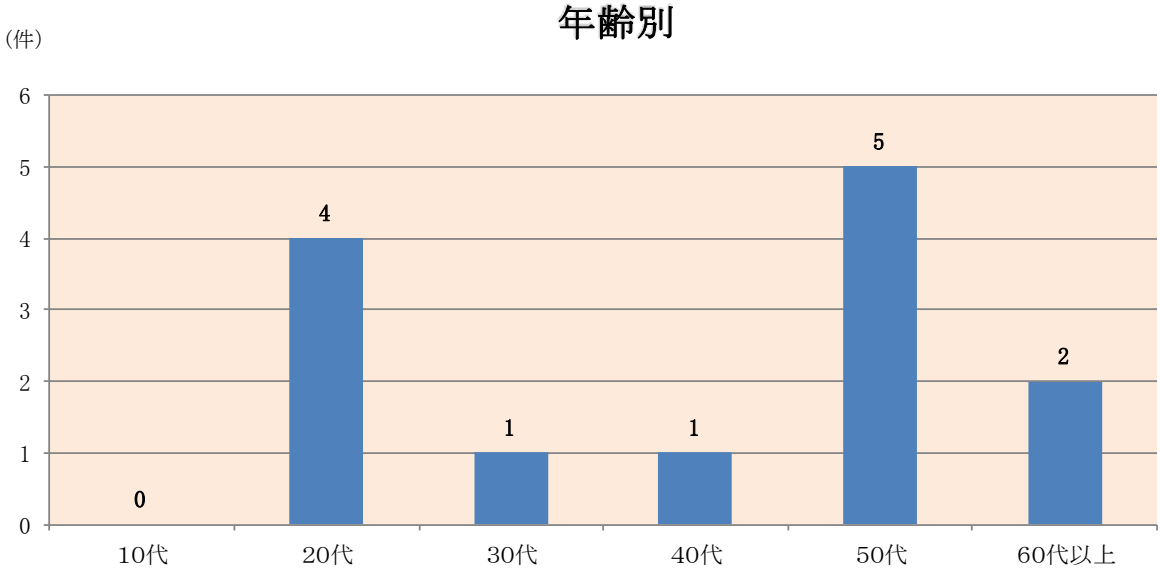
経験年数別



事業場規模別



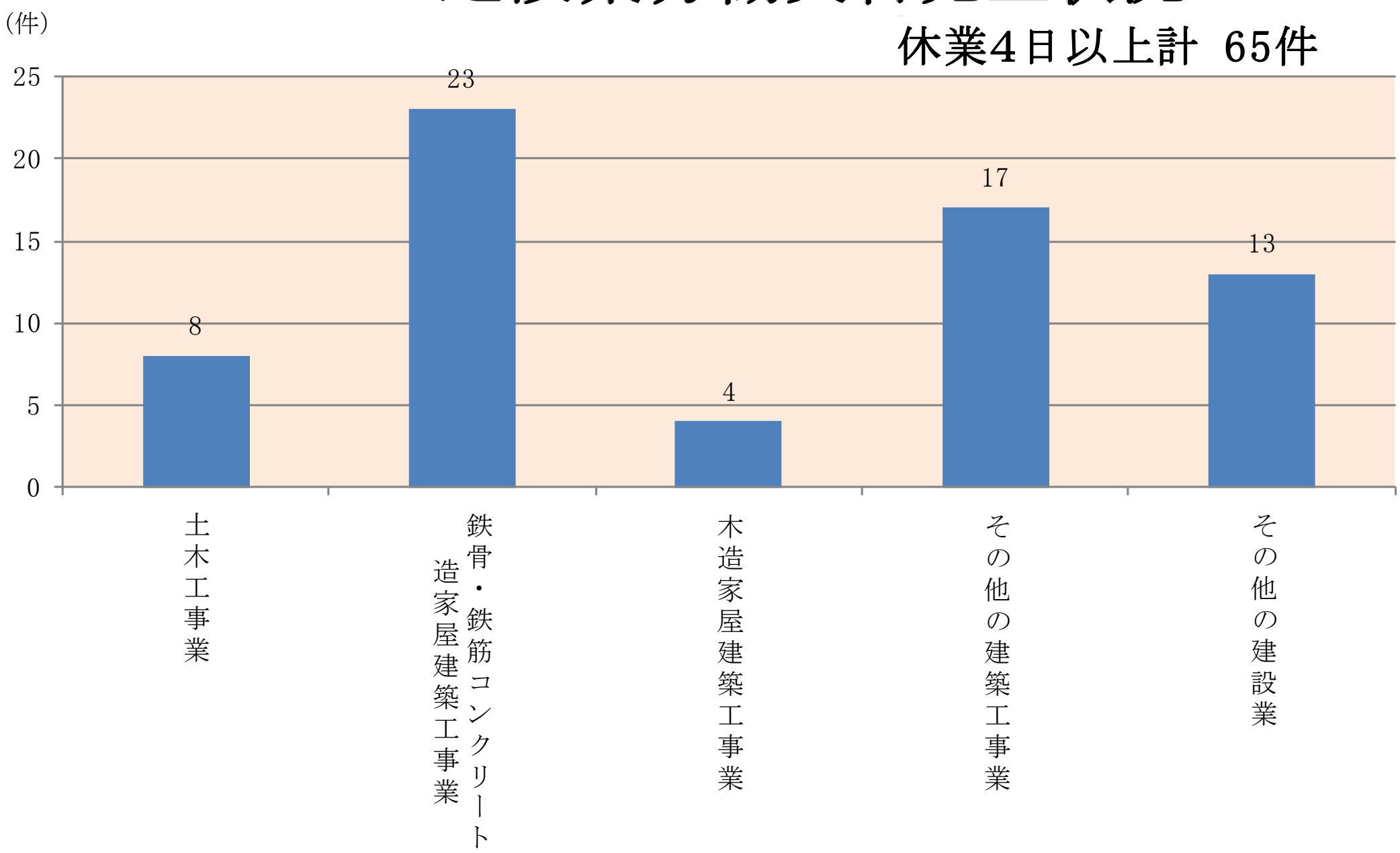
年齢別



品川労働基準監督署

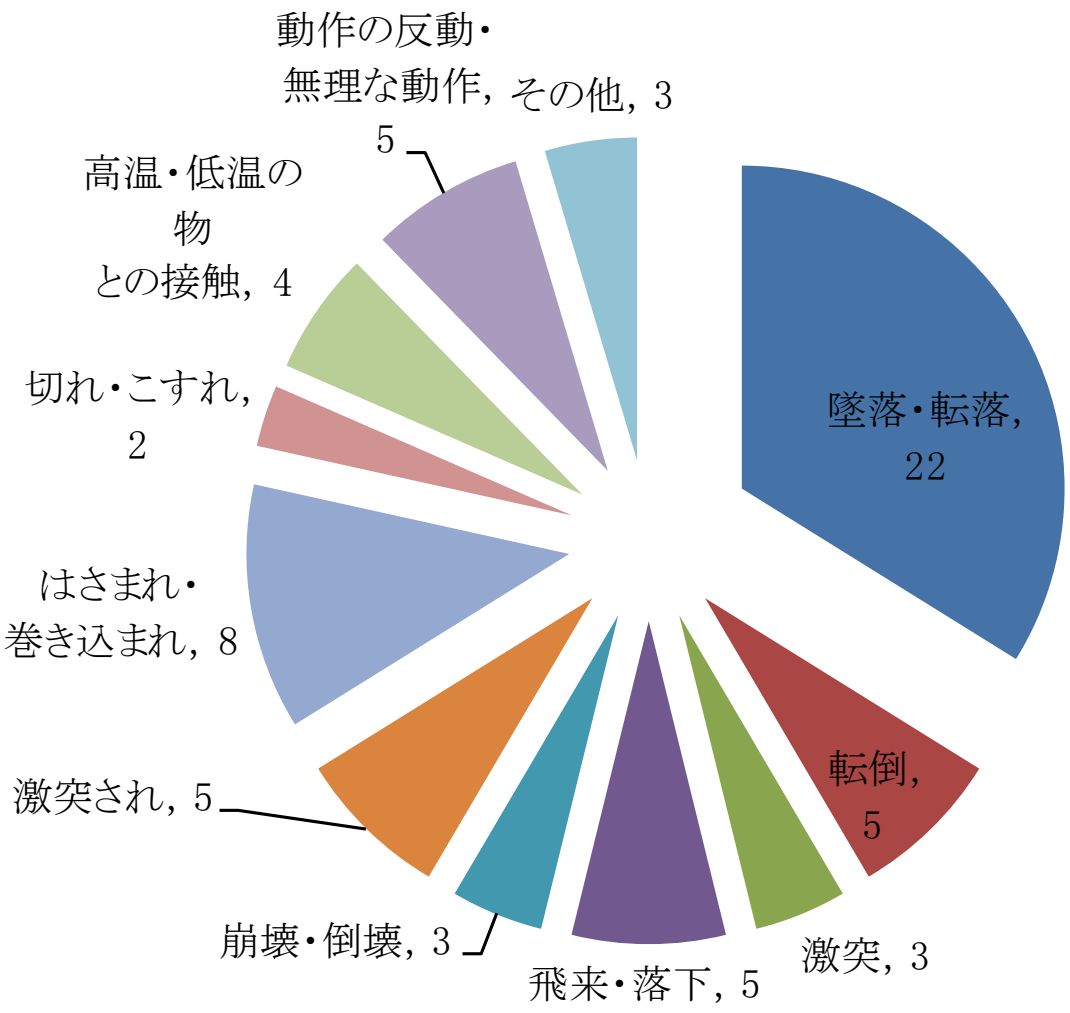
建設業労働災害発生状況

休業4日以上計　65件

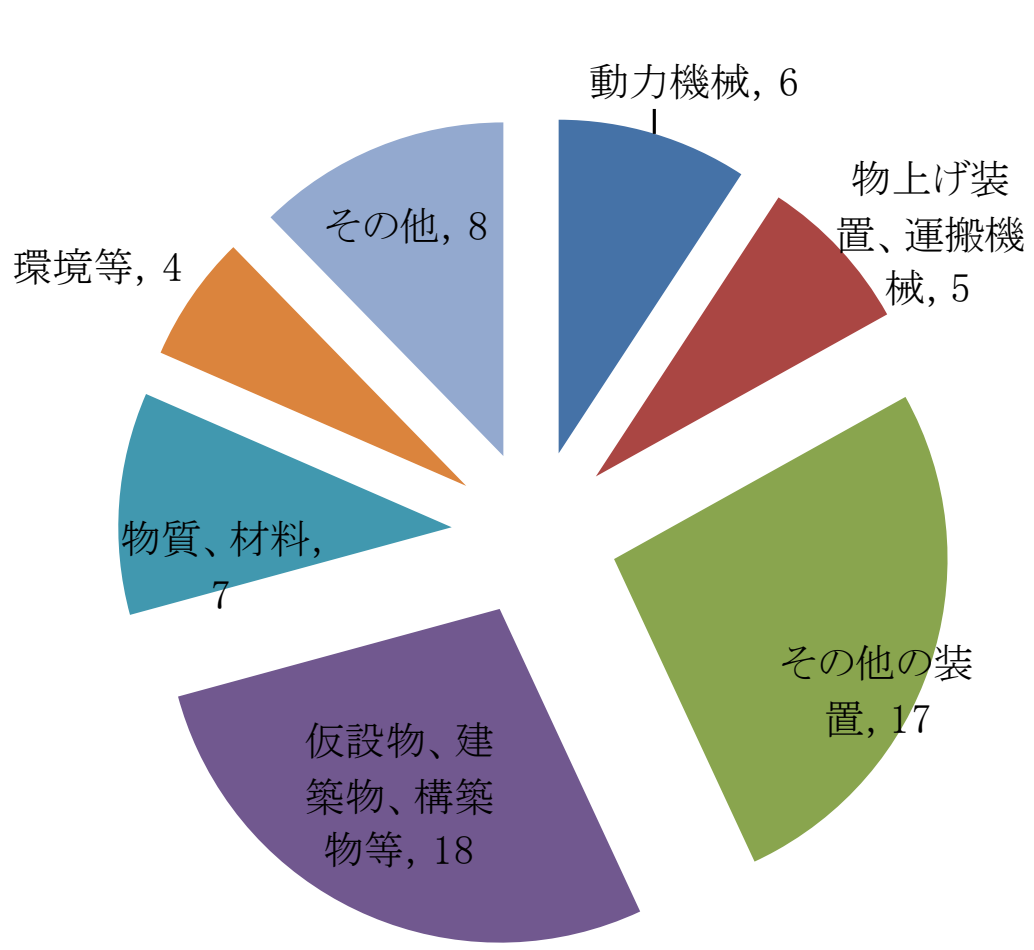


業種別では、鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業が23件（35．4％）と最も多く、次いでその他の建設業が17件（26．2％）となっています。

事故の型別

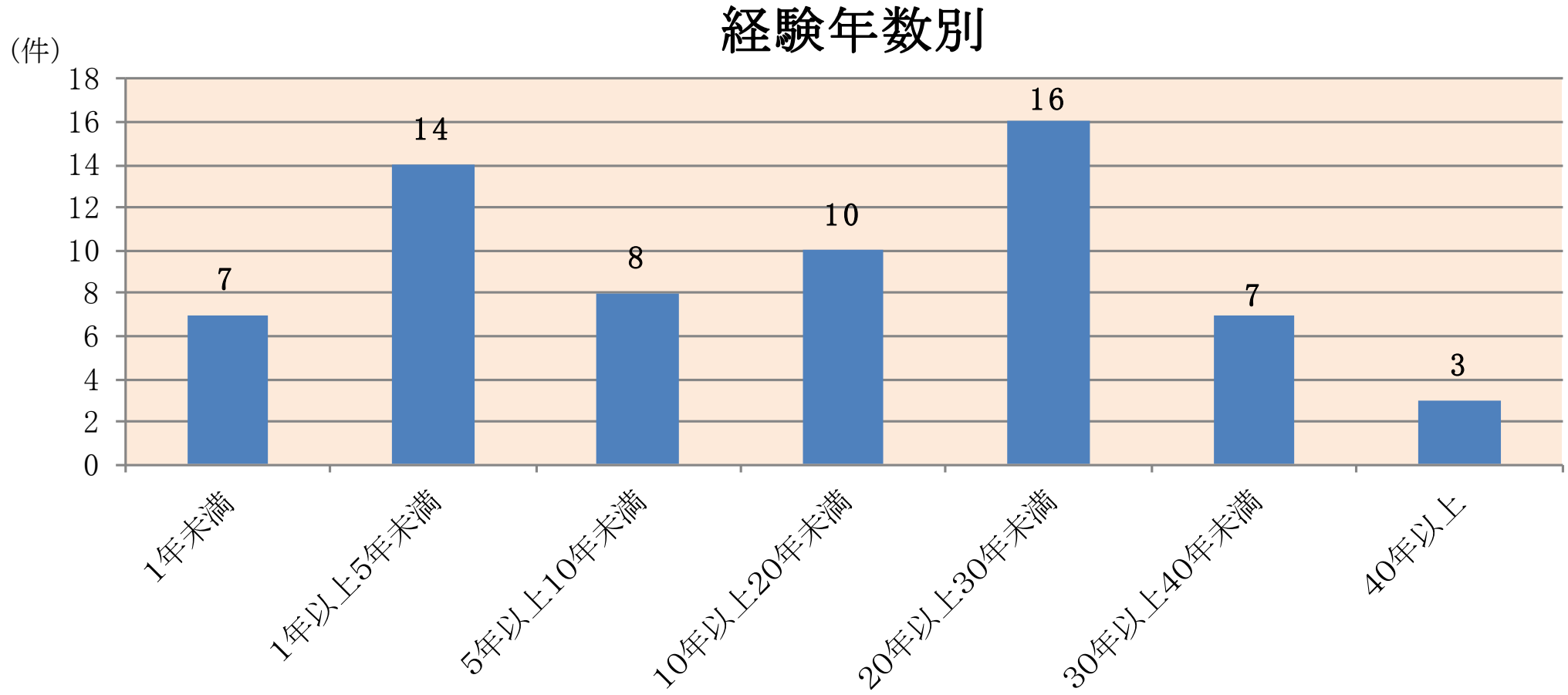


起因物別

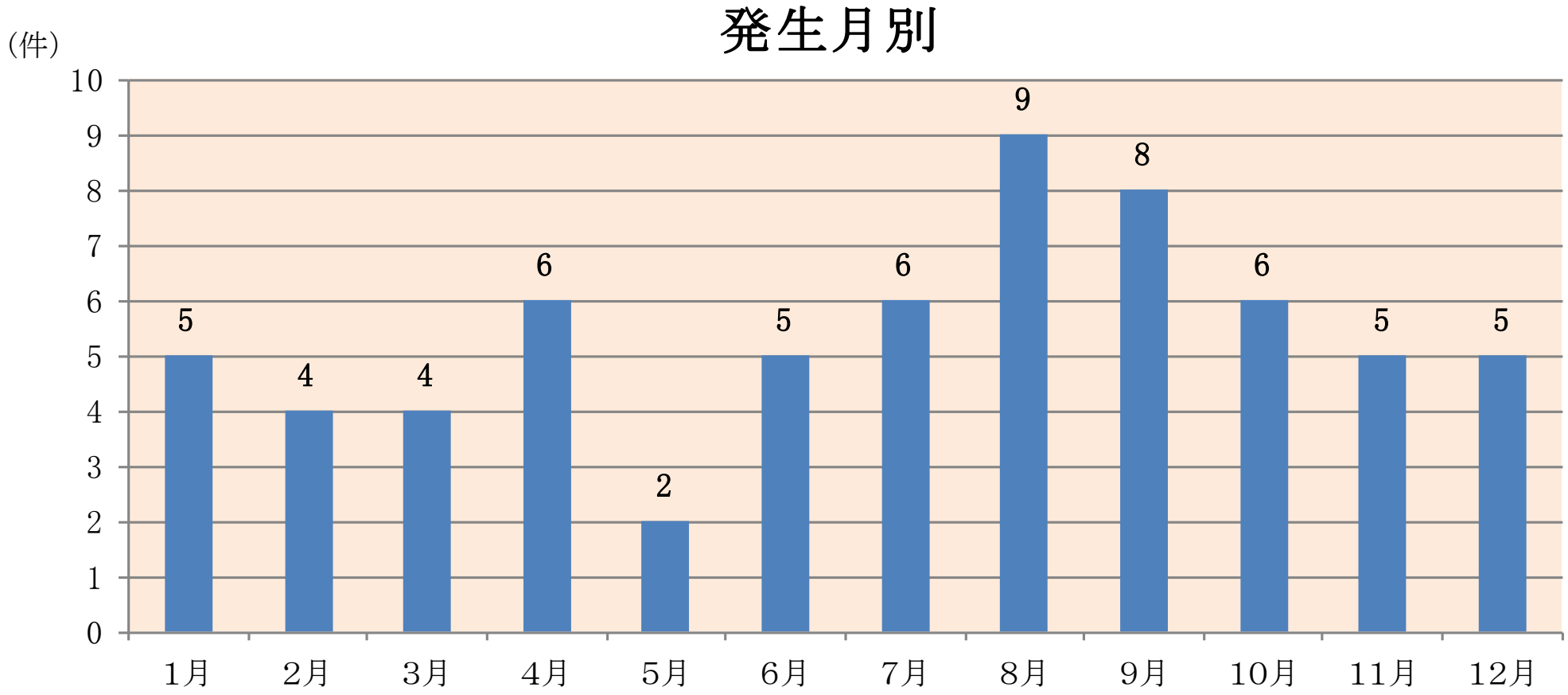


事故の型は、墜落・転落が22件（33．8％）と最も多く、 次いで、はさまれ・巻き込まれ8件（12．3％）となっています。
起因物は、仮設物・建築物・構築物等（足場・建築中の建物・通路等）が18件（27．7％）、次いで、その他の装置（手工具、はしご等）が17件（26．2％）となっています。

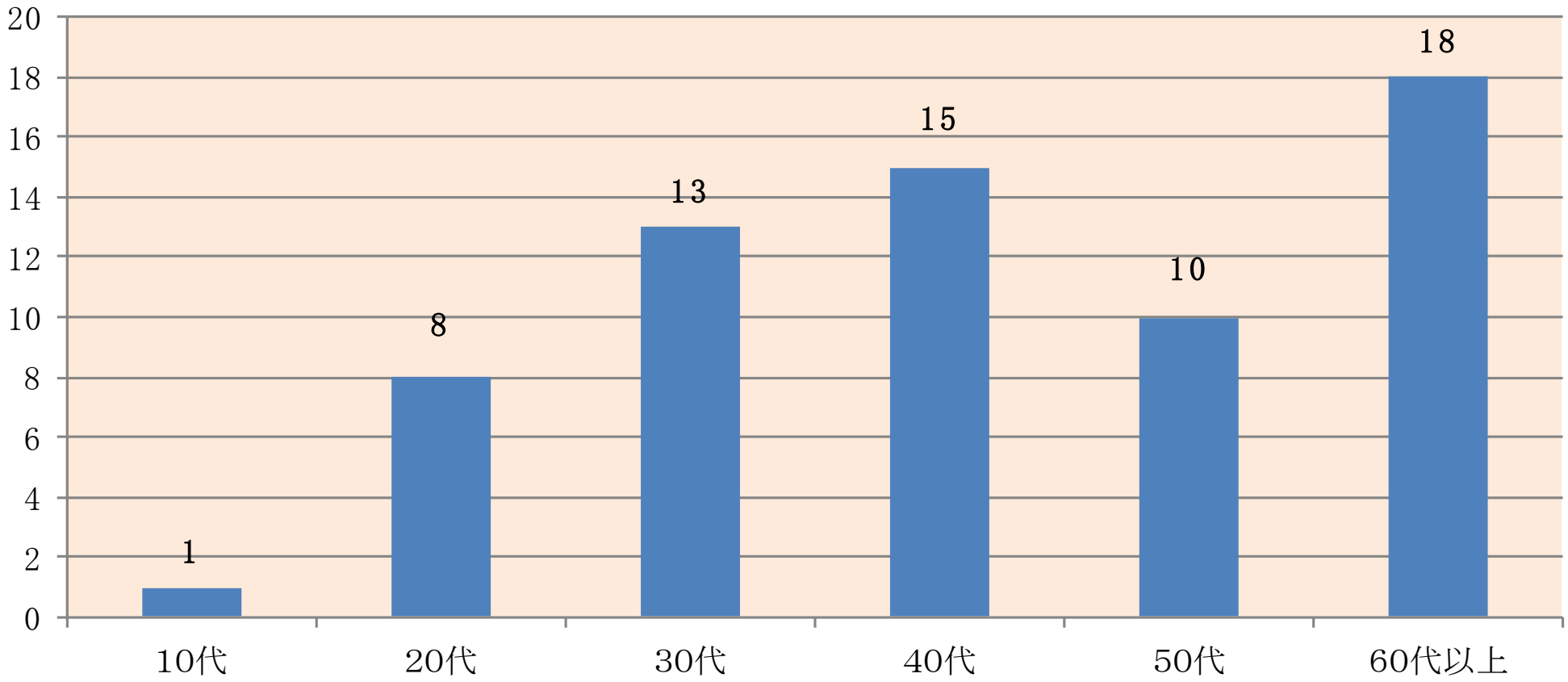
経験年数別



発生月別

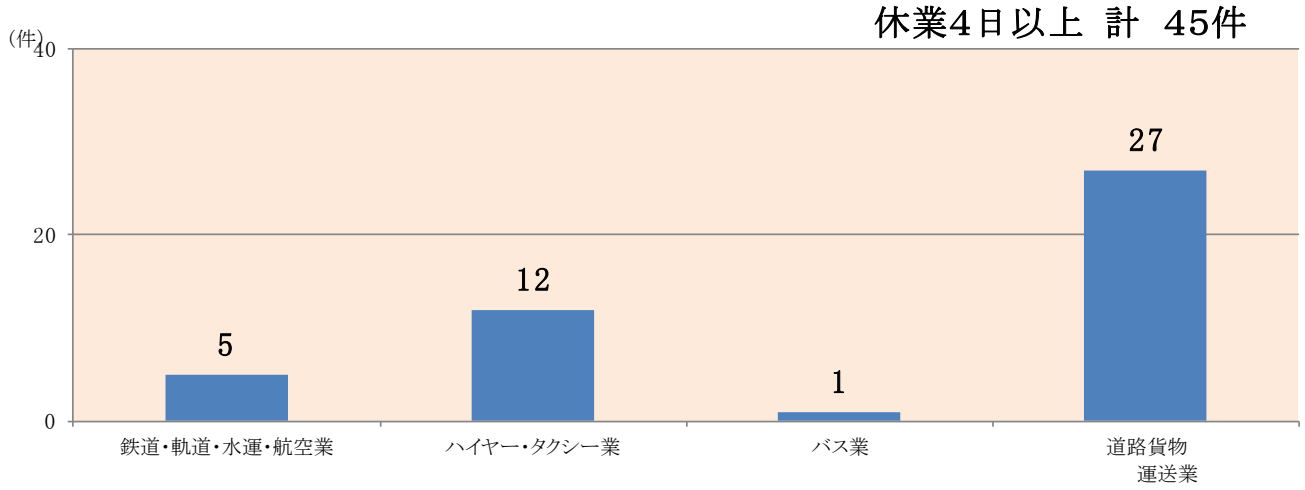


年齢別



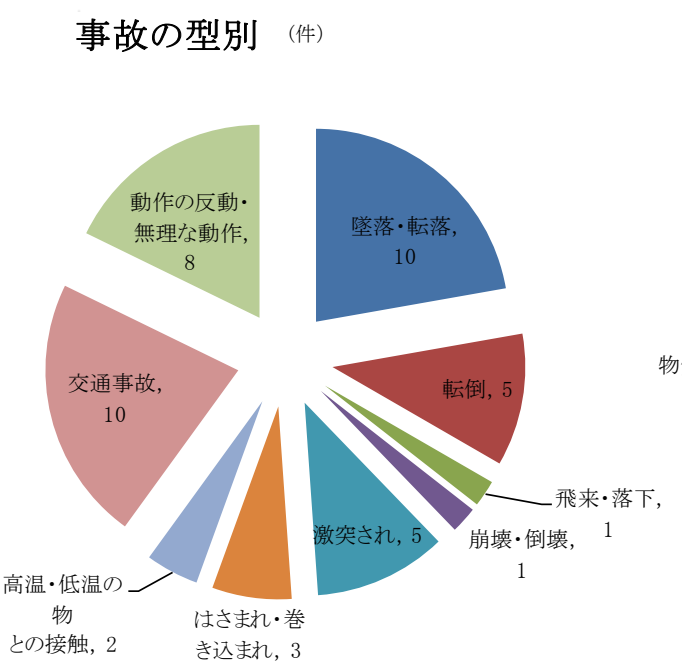
品川労働基準監督署

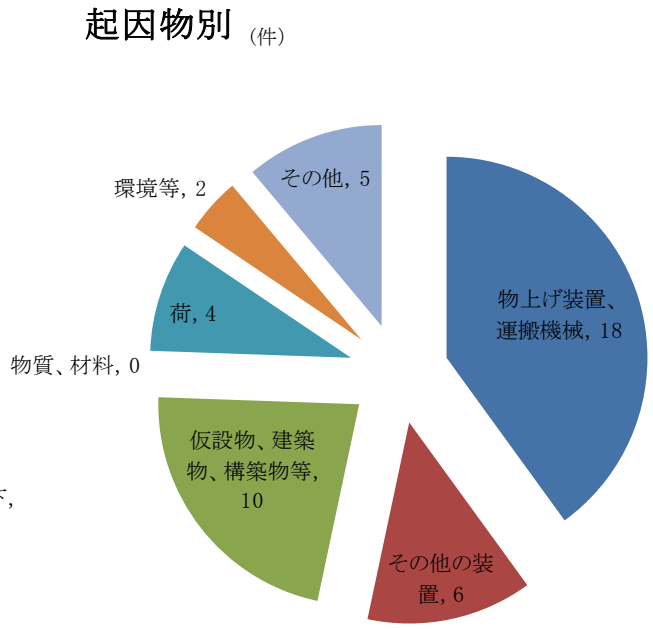
運輸交通業労働災害発生状況



道路貨物運送業、ハイヤー・タクシー業での災害が多発！！

業種別では、道路貨物運送業が27件(60．0%)が最も多く、次いでハイヤー・タクシー業が12件(26．7%)となっています。

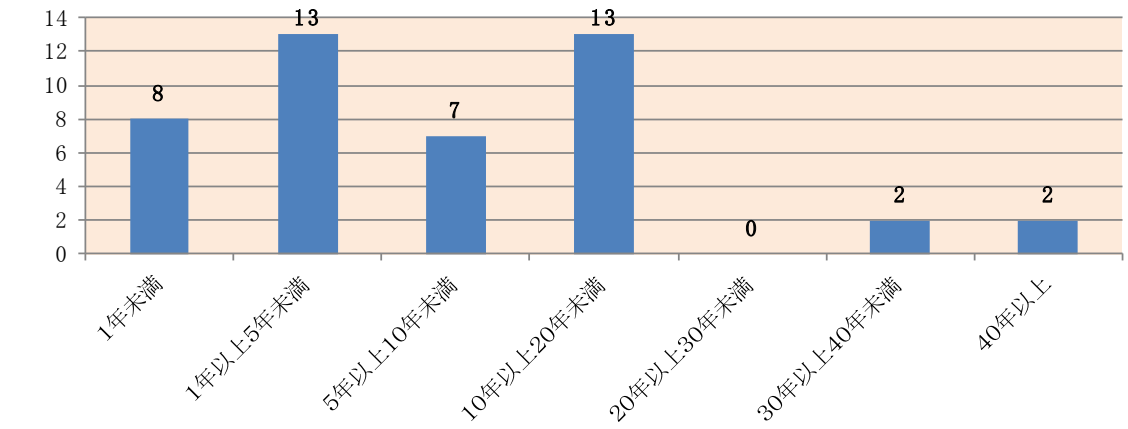




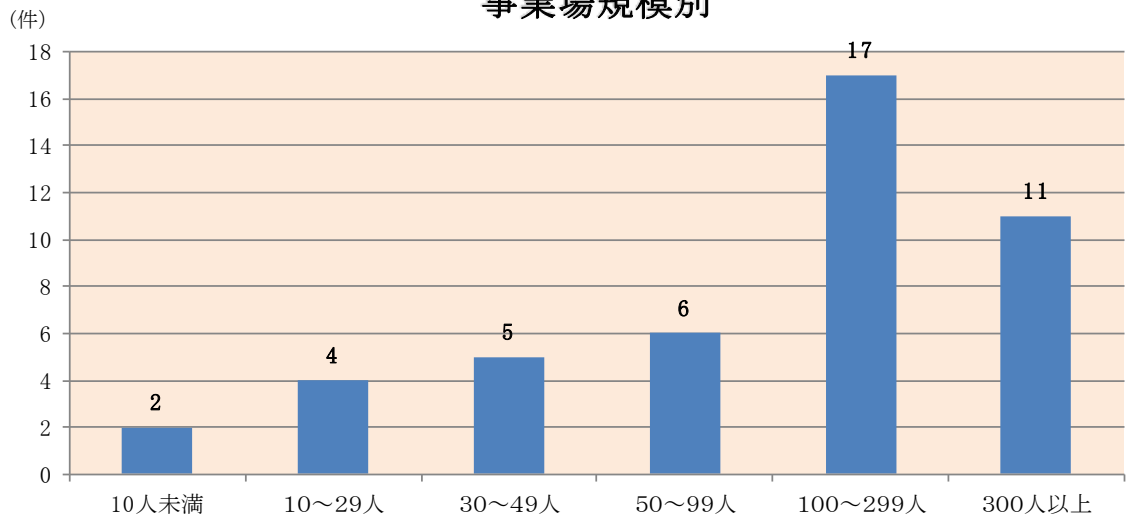
事故の型では、墜落・転落及び交通事故が10件(22．2%)と最も多く、次いで、腰痛等を含む動作の反動・無理な動作が8件(17．8%)と多く発生しています。

起因物では、物上げ装置・運搬機械(トラック・タクシーなど車両を含む)が18件と全体の40．0%を占め、次いで仮設物、建築物、構築物等(プラットホームや通路等を含む)10件(22．2%)となっています。

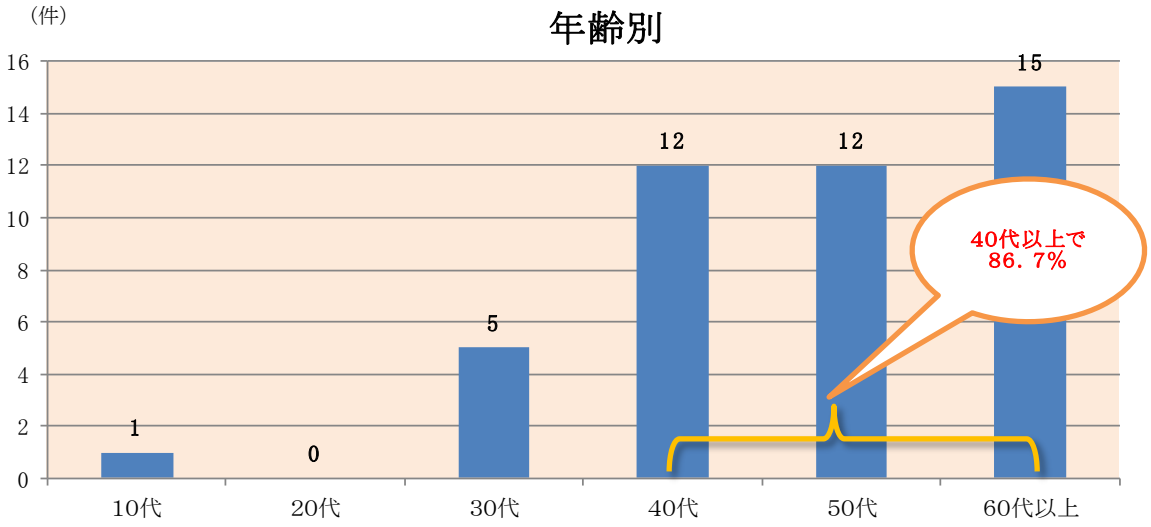
経験年数別



事業場規模別

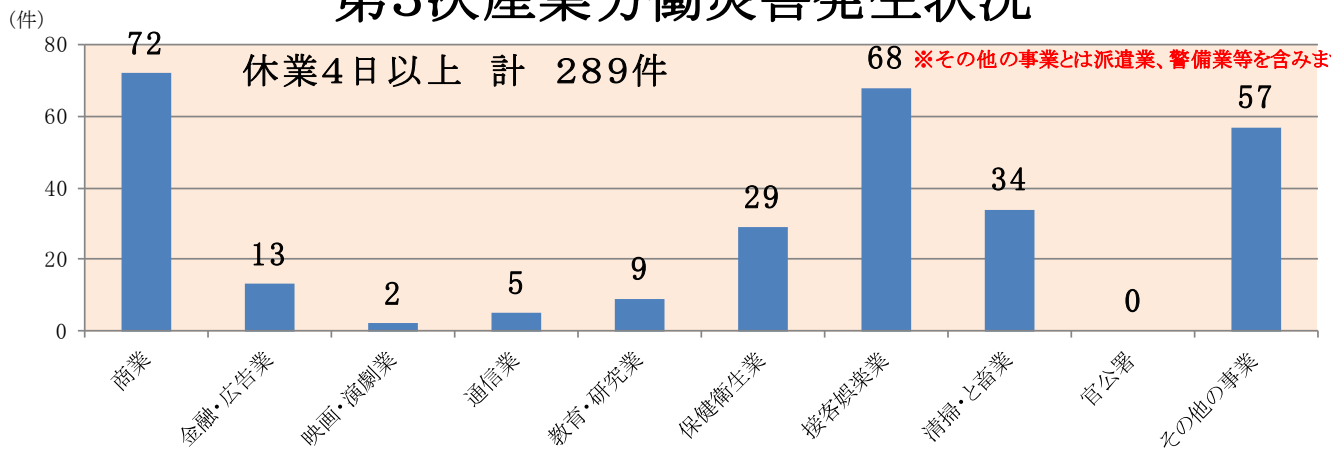


年齢別



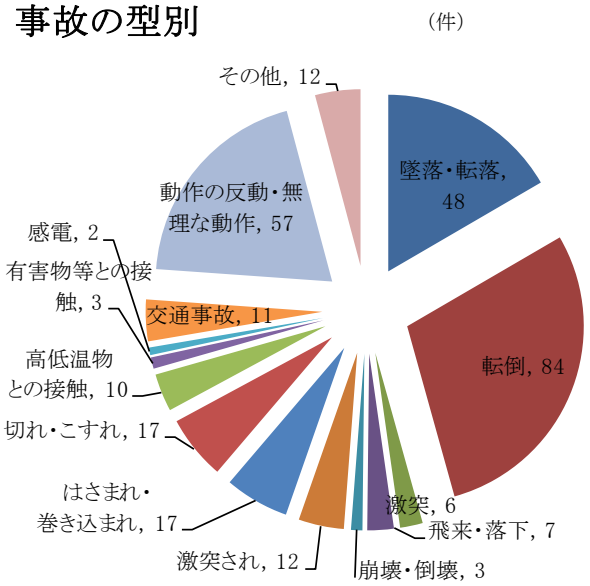
品川労働基準監督署

第3次産業労働災害発生状況

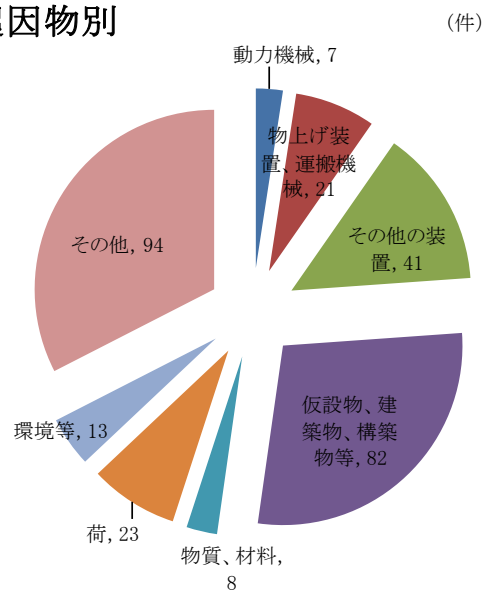


業種別では、商業72件(24．9%)、接客娯楽業68件(23．5%)で多く発生しています。

事故の型別

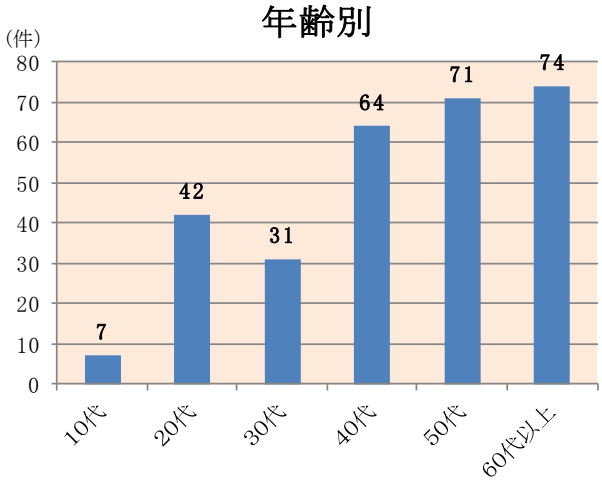


起因物別

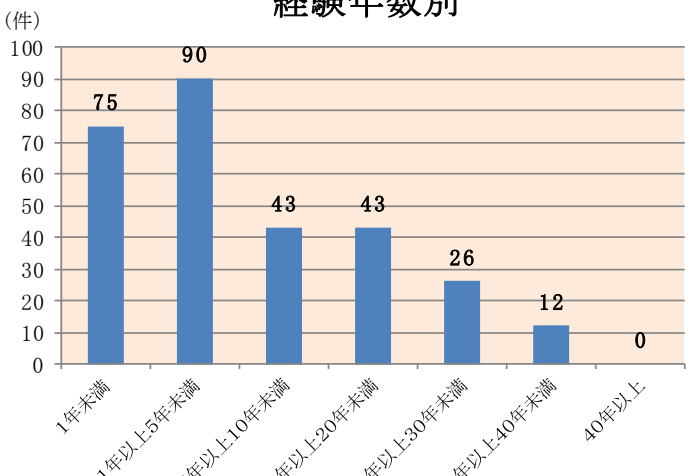


事故の型では、転倒が84件(32．5%)と最も多く、次いで動作の反動・無理な動作57件(19．8%)、墜落・転落48件(16．6%)となっています。
起因物では、その他(人等)が94件(32．5%)と最も多く、次いで仮設物・建築物・構築物等(階段・通路等)82件(28．3、その他の装置41件(台車・はしご等)(14．2%) となっています。

年齢別

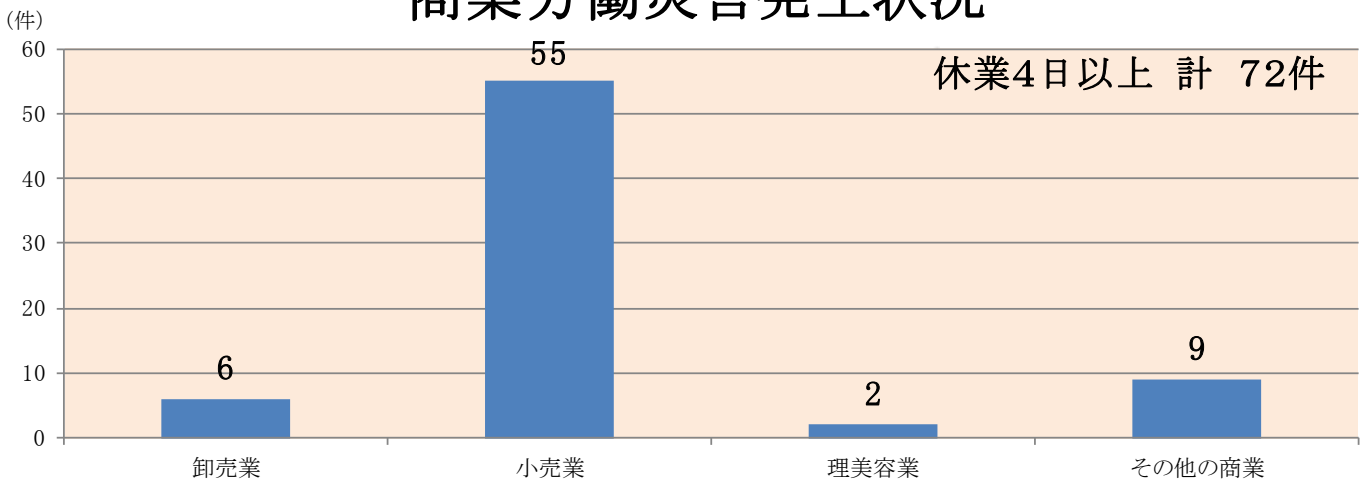


経験年数別

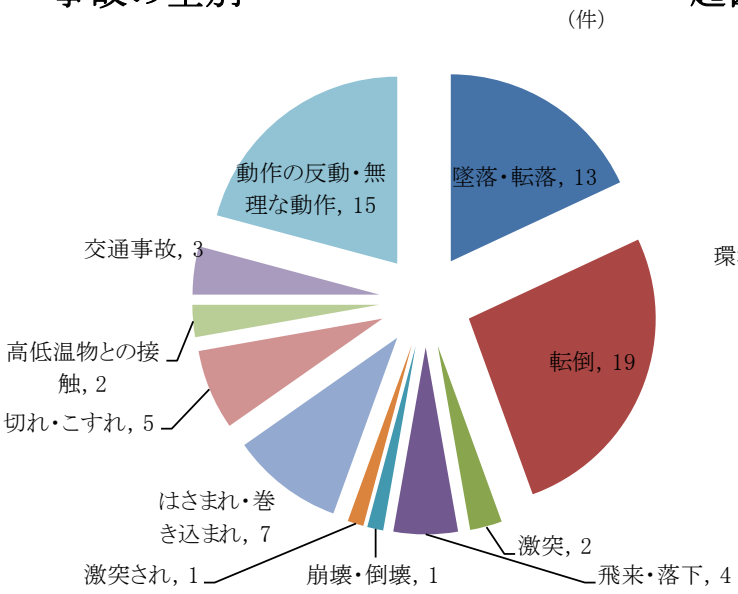


品川労働基準監督署

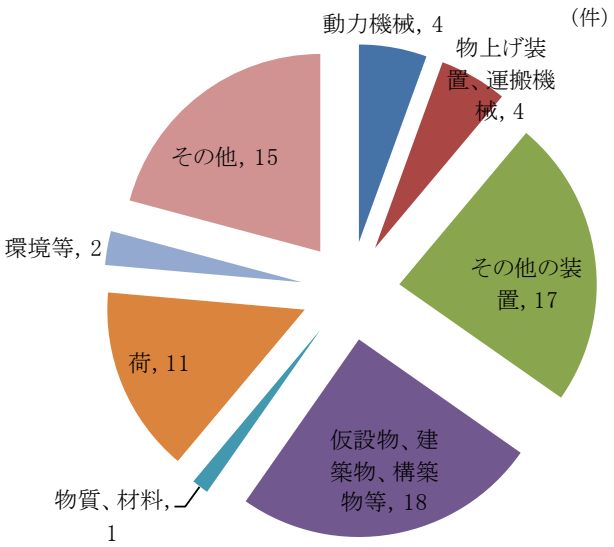
商業労働災害発生状況



事故の型別

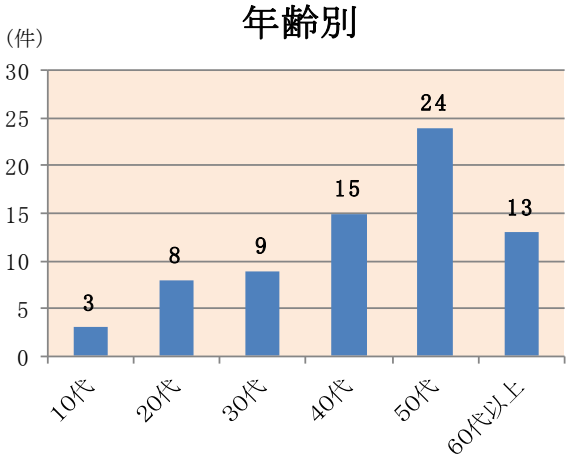


起因物別

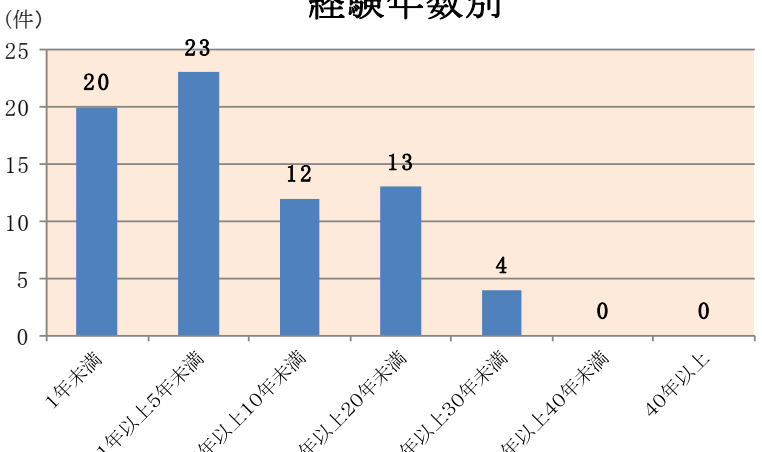


事故の型では、転倒が19件(26．4%)と最も多く、次いで動作の反動・無理な動作15件(20．8%)となっています。
起因物では、仮設物、建築物、構築物等(階段、通路等)18件(25．0%)と最も多く、次いでその他の装置(脚立、手工具等)17件(23．6%)を占めています。
経験年数別では、5年未満の労働者が43件で59．7%を占めています。

年齢別

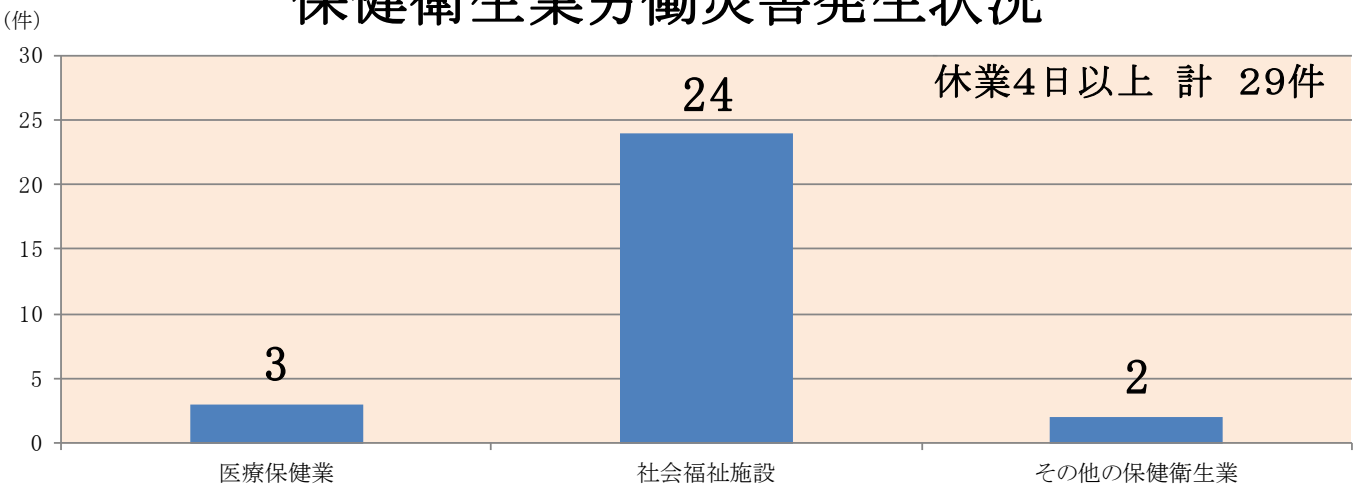


経験年数別

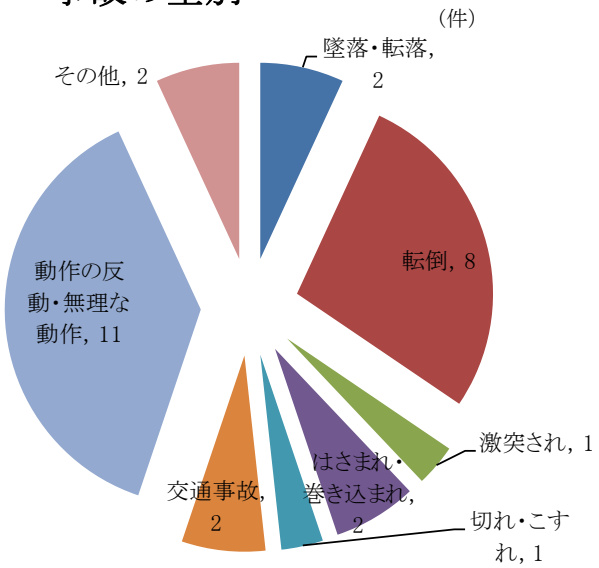


品川労働基準監督署

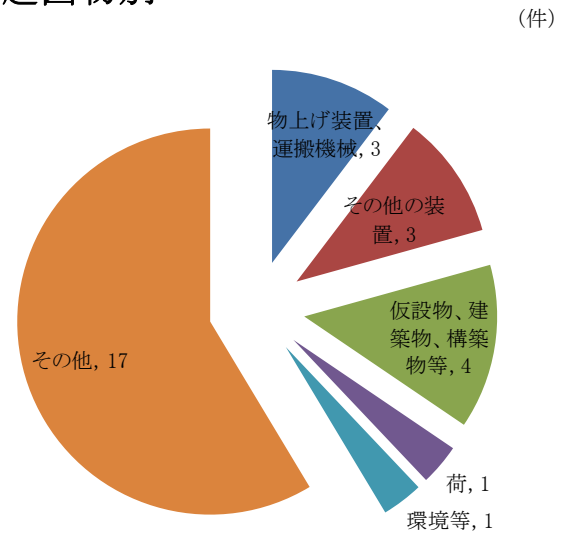
保健衛生業労働災害発生状況



事故の型別



起因物別

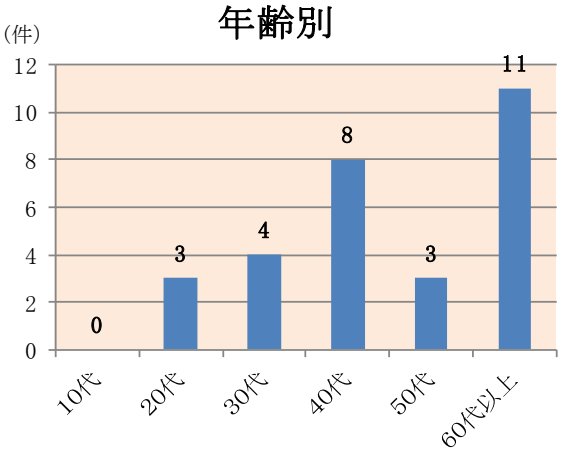


事故の型では、動作の反動・無理な動作が11件(37．9%)と最も多く、次いで転倒8件(27．6%)となっています。

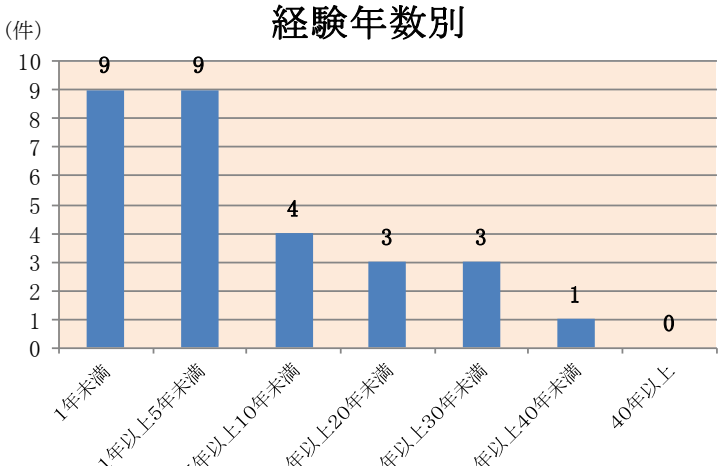
起因物では、その他(要介助者を介助中に発生した場合等、人が起因するもの等をいいます)が17件と全体の58．6%を占めています。

保健衛生業では、介助作業等における腰痛災害や通路等における転倒災害防止が重点となります。

年齢別

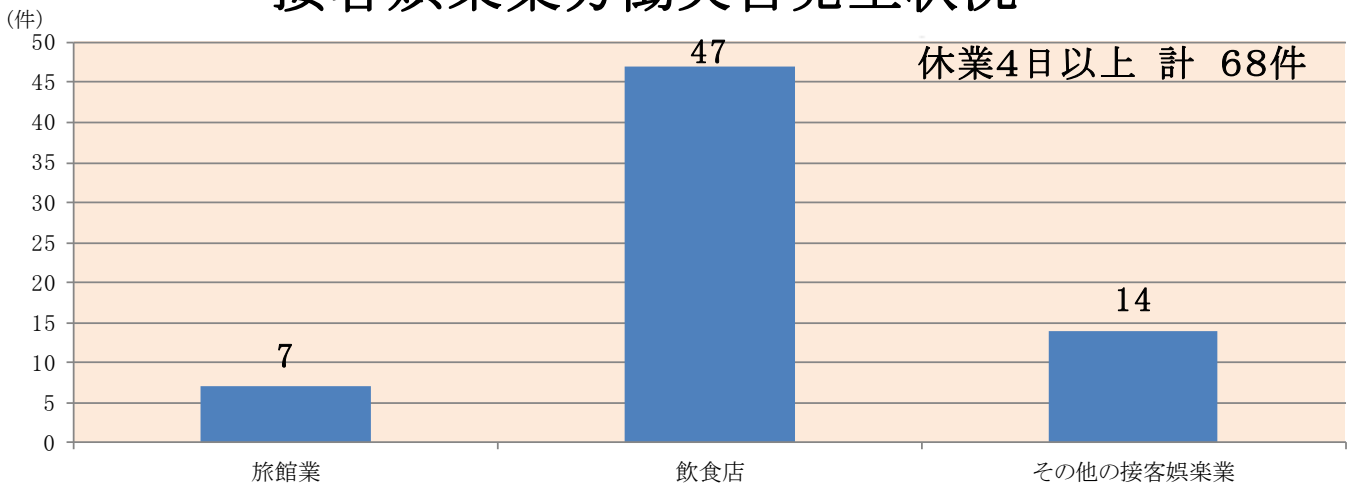


経験年数別

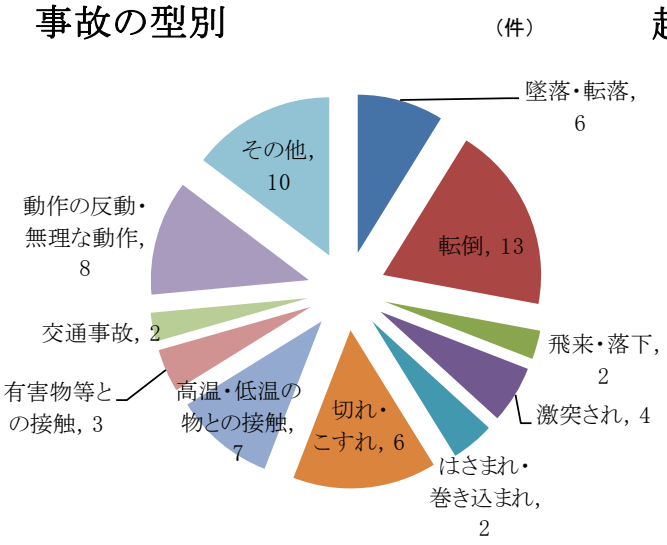


品川労働基準監督署

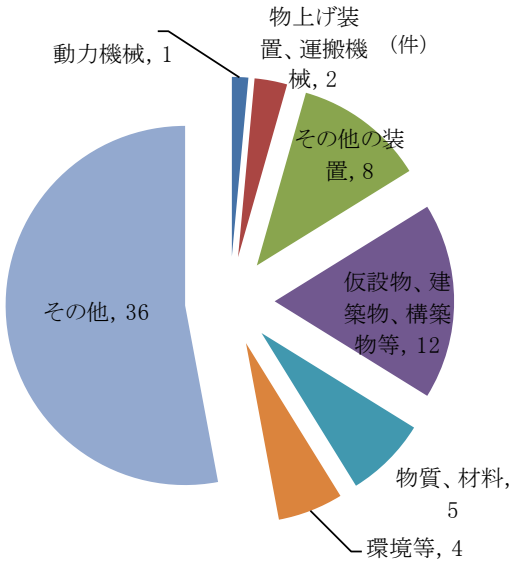
接客娯楽業労働災害発生状況



事故の型別

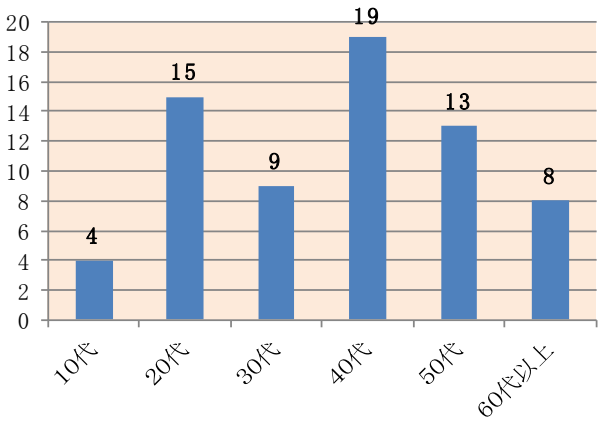
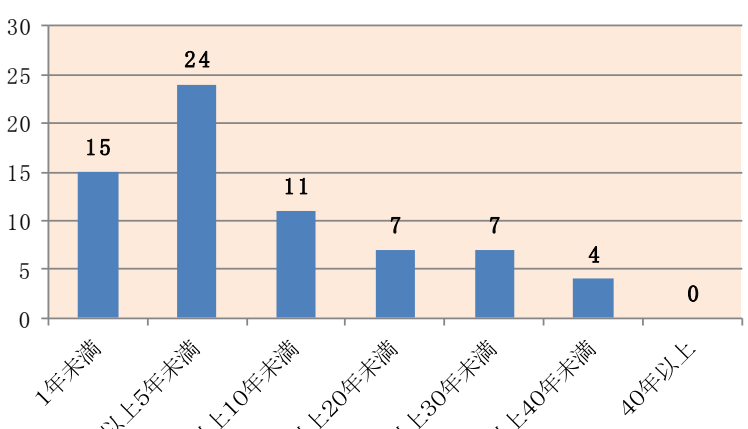


起因物別



事故の型では、転倒が13件(19．1%)で最も多く、動作の反動・無理な動作(11．8%)、高温・低温の物との接触(10．3%)、切れ・こすれ(8．83%)も多く発生しています。
起因物では、仮設物・建築物・構築物等(通路・床・階段など)が12件(17．6%) と多く、その他の装置(脚立、手工具など)(11．8%)の順となっています。

年齢別



経験年数別